



社会福祉法人 流山市社会福祉協議会

ふれあいネットワーク

ながれやま

2017.6.15 第173号

福祉だより



千葉県流山市平和台2-1-2 電話:04-7159-4735



4月21日、流山市生涯学習センターで開催された流山市民生委員児童委員協議会の総会と研修会

民生委員制度が100周年 これからも地域とともに

児童委員制度も創設70周年

皆さんは、身近な地域でご活躍されている民生委員・児童委員をご存知ですか。全国では、23万人の民生委員・児童委員の皆さんがそれぞれの地域にあつて、その力を発揮され、地域福祉の増進に積極的な役割を果

民生委員は、民生委員法に基つき、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。給与の支給はなく、ボランティアとして活動されています。また、民生委員は児童委員は、児童委員法に定める児童委員を兼ねることとされています。民生委員・児童委員は、自らも地域住民の一員として、それぞれが担当する区域において、住民の生活上のさまざまな相談に応じ、行政をはじめ適切な支援やサービスへの「つなぎ役」としての役割を果たすとともに、高齢者や障害者世帯の見守りや安否確認などにも重要な役割を果たしています。

たしていらつしゃいます。流山市でも、百五十七人の委員の方々が活躍されています。今年度は、民生委員制度創設100周年、そして児童委員制度創設70周年という記念の年です。

また、民生委員・児童委員の一部の方は、厚生労働大臣により「主任児童委員」に指名されています。主任児童委員は、子どもや子育てに関する支援を専門に担当する民生委員・児童委員です。

民生委員制度は、大正6年に岡山県に設置された「済世顧問制度」と、大正7年に大阪府で始まった「方面委員制度」が始まりとされています。今年度は、済世顧問制度発足から百周年という記念すべき年であり、全国から一万人の委員が一堂に会し、民生委員制度創設百周年記念全国民生委員児童委員大会が7月に都内で開催されます。流山市民生委員児童委員協議会（大野トシ子会長）の方々には、理事や評議員として流山市社会福祉協議会の運営にもお力添えをいただいています。

流山市社会福祉協議会は、流山市民生委員児童委員協議会の事務局を担当しています。なお、この番組は、6月が「社会福祉の法律と制度」（ルーテル学院大学金子和夫教授）、7月が「子ども家庭福祉の現在の課題」（関西大学山縣文治教授）、8月が「社会保障のしくみ」（慶応義塾大学駒村康平教授）、9月が「認知症の人の支援」（認知症介護研究・支援研修東京センター 永田久美子研究部長）という放送予定です。

大野会長がゲストトーク

7/29 NHK「社会福祉セミナー」

NHKラジオ第2放送（693キロヘルツ）の人気番組「社会福祉セミナー」。7月の「ゲストトーク」のコーナーで「民生委員制度の現状と課題」が放送されます。ゲストは、同志社大学の上野谷加代子教授と流山市民生委員児童委員協議会の大野トシ子会長。

大野会長は、千葉県民生委員児童委員協議会長、全国民生委員児童委員連合会副会長などの要職の傍ら流山市社会福祉協議会の副会長としても活躍いただいています。放送は、7月29日（土）午後7時から、再放送は翌30日（日）午後0時15分からNHK

心配ごと相談のご利用を 民生委員・児童委員が応じます

流山市社会福祉協議会では、民生委員・児童委員の皆さんのご協力を得て、「心配ごと相談所」を開設しています。現代社会は、ストレスや心配事が山積しています。お仕事のこと、ご家庭のこと、学校のこと、地域のこと。日々の暮らしの中での不安や悩み。民生委員・児童委員の皆さんが、さまざまな心配ごとをお聴きして、ご相談の内容によっては、必要に応じて専門の相談機関をご紹介します。

子育てサロンにご参加を

流山市民生委員児童委員協議会では、乳幼児と保護者の交流の場「子育てサロン」を開催します。流山市生涯学習センターと流山市社会福祉協議会との共催で企画されたもので、プレオープンとして6月29日（木）10時から11時30分まで流山市生涯学習センターで開催します。同センターでは初めての試みとなるため事前予約が必要です。「子育ての情報交換をしたい」、「育児の悩みや不安を話したい」そんな方々の交流の場です。参加費無料。定員40組。



017474
017474